

ふるさと防災まかせて

平成22年度消防団任命式



新入団員を代表し、力強く宣誓する松本さん

4月4日、平成22年度消防団任命式が役場大会議室で行われました。式ではまず、高野裕司団長から各班長33人と新入団員42人に任命書が交付されました。また、新入団員を代表し、松本拓さん（寺迫）が「命令、条例および規則を遵守し、良心に従って忠実に消防の義務を遂行します」と宣誓しました。

式の中で、住永町長は「町民の生命・財産、心のやすらぎを守るために、消防団はなくてはならない存在です。消防団としての誇りを持ちな

がら、高野団長の指揮の下、頑張ってください」と激励の言葉を贈りました。

続いて高野団長が「災害は、いつ、いかなるところで起こるか分かりません。分団長、班長を中心に機械器具の点検を心がけ、しっかりと訓練を重ね、万一の事態に備えてください」と訓示しました。

式終了後、新入団員は高遊原南消防署に場所を移し、初期救命手当てである「AED操作法」や規律訓練、ホースの取扱法などを真剣な表情で取り組んでいました。



初期救命手当ての訓練に取り組む団員たち

益城中運動場を拡張

現地で工事の安全祈願祭

3月14日、益城中学校運動場拡張工事の工事安全祈願祭が、学校や工事関係者など約60人が出席して行われました。

この工事は、現在の運動場が手狭となり、学校や保護者などから拡張の要望がなされていたことによるもので、同校西隣り（福富）の6,102㎡に約6,250万円をかけ造成。7月末の完成後は、テニスコートや100mトラック、バスケットコートなどに利用される予定です。神事後のあいさつで住永町長は「工事が無事に終わり、生徒たちが伸び伸びと運動できる環境が一日も早く整うことを願っています」と述べました。

たくさんの方が工事の安全を祈りました



エコ活動支援金を受け取る竹原さん

環境活動を支援します

益城中エコクラブへ活動支援金を贈呈

3月23日、環境活動を続けている益城中学校エコクラブに対し、「エコ活動支援金」が贈られました。

この支援金は、環境活動をまとめた壁新聞を出品した全国309団体の中から選抜された団体（県内3団体）に対して、環境省がすすめる「こどもエコクラブ」を支援するコカ・コーラ教育・環境財団熊本支部（熊本市、俵田憲雄社長）を通じて贈られたものです。

クラブを代表して支援金を受け取った竹原莉央さん（2年）は、「大事に使わせていただきます」とお礼を述べ、今後の学習活動に意欲を見せていました。